

# ～安全・安心な子供たちの未来のために～ 愛知大会

出演

Mr. Tom Mauser



(コロンバイン高校で  
子息を射殺される)

砂田向壺(こういち)



ストップ・ガン・  
キャラバン隊 代表  
(ニューヨークにて  
子息を射殺される)



Mr. Cory D. Howell  
(YOSHI基金 11 回生)

鈴木久行氏(愛知県警  
銃器薬物対策課長補佐)



銃器によって最愛の我が子を  
奪われた日本と米国の父親が、  
銃暴力に挑んだ歳月を語る。

「安全な社会は自ら動き、  
創り出していくもの」と若  
い人達に伝えたい。

米国の留学生に日米の文化と  
安全について語ってもらい、安  
全とは何か、中高生達が考える  
場を提供したい。

平成 16 年 10 月 17 日(日)

開場 13:30 開演 14:00

場所 愛知大学 車道キャンパス

コンベンションホール(3階)

定員 330 名、無料(整理券有り)

- 手話通訳付き -

主催 ストップ・ガン・キャラバン隊

後援 警察庁、(財)社会安全研究財団  
(財)全国防犯協会連合会、愛知県  
愛知県教育委員会、名古屋市  
名古屋市教育委員会、中日新聞、  
朝日新聞、名古屋テレビ、中京テレビ  
愛知大学、愛知大学後援会  
愛知大学同窓会

協力 YOSHIの会

## プログラム

14:00 ~ 砂田向壺 主催者あいさつ  
鈴木久行氏「国内の銃を取り巻く  
現状報告」

### 【第1部】

14:20 ~ 砂田向壺「父の闘い～銃器製造責  
任訴訟、米国裁判史上初の勝訴、  
原告団唯一の外国人」 休息

### 【第2部】

15:15 ~ Mr. Cory D. Howell 挨拶

15:35 ~ 映画:ボーリング・フォー・コロンバイン  
(マイケルムーア監督、ダイジェスト版)

15:40 ~ Mr. Tom Mauser 通訳:梶原寿  
「コロンバイン高校事件を語  
る」

講演 15分、質疑応答 30分

16:25 ~ 終了あいさつ 16:30

会場案内 愛知大学 車道キャンパス

- ・名古屋市東区筒井二丁目 10-31
- ・駐車場がありませんので、地下鉄  
(車道下車 1 番出口)をご利用下さい



お問合せ

ストップ・ガン・キャラバン隊 隊員  
YOSHIの会 会員 服部政一、美恵子  
TEL&FAX 052-301-0417  
[hatmi@wmail.plala.or.jp](mailto:hatmi@wmail.plala.or.jp)

## ストップガンキャラバン隊

## STOP GUN CARAVAN

私達は銃犯罪・暴力犯罪根絶のため全力で走り続けます。

私達『ストップガンキャラバン隊』は米国でわが子の命を銃によって奪われた両親とその家族が母体となって発足いたしました。その後、国内の銃犯罪による遺族も加わり、銃器・暴力犯罪撲滅のための啓発活動を続けております。私達は愛する家族を銃によって奪われ、強い怒りと悲しみを味わった者として、銃は人の生命を奪う道具以外の何ものでもない事を他の誰よりも知っています。このような趣旨に基づき、銃器の危険性を訴え少しでも社会のお役に立ちたく、より多くの方々のご賛同ご参画をお願いする次第です。

メンバー：砂田向壺(代表) 松浦脩治 服部政一・美恵子 小田啓二(ガーディアンエンジェル代表)他  
ホームページ：<http://www.stopgun.org/>

【Mr. Tom Mauser】1999年コロラド州デンバー郊外のリトルトンにあるコロンバイン高校で2人の高校生により子息を射殺される。映画「ボーリングフォーコロンバイン」に出演。コロンバイン高校事件の関係者ネットワークの中心となって活動をしている。

ホームページ：<http://www.DanielMauser.com>

【ボーリング・フォー・コロンバイン】1999年4月20日コロラド州リトルトンのコロンバイン高校銃乱射事件(コロンバイン高校の生徒である2人の少年が、高校に乗り込み銃を乱射。12人の生徒と1人の教師を殺害したのち、自殺するという衝撃的な事件)を扱った、マイケル・ムーア監督のドキュメンタリー作品。2002年カンヌ国際映画祭55周年記念特別賞受賞。マイケル・ムーアは、その大きな体をゆすりながら、問題の核心に迫るためマイク片手にアポなし突撃取材を敢行していく。彼は問う。「なぜコロンバイン事件が起きたのか？なぜ銃犯罪が多発する



のか？こんなアメリカに誰がした？」「マリリン・マンソンのライブを禁止するのなら、なぜボウリングも禁止しないのか？」(映画のタイトルは、コロンバイン高校の事件を起こした少年たちがボウリング部員で、母校を襲いに行く前にも地元でボウリングをしていた事実に由来する。)

【マイケル・ムーア監督】ユーモアを武器に社会の矛盾に鋭く斬り込む作家兼映画監督。



1989年、GM工場での大量解雇に揺れる地元フリントを取材したドキュメンタリー「ロジャー&ミー」、2002年、アメリカ銃社会の抱える問題点を鋭くえぐったドキュメンタリー「ボウリング・フォー・コロンバイン」、2004年には、9月11日の同時多発テロ以降のアメリカ社会をテーマにブッシュ政権の実態に迫るドキュメンタリー「華氏911」を発表、見事カンヌ映画祭で最高賞のパルムドールを受賞した。強まる保守派からの抵抗にもめげず、ユーモアを身にまといつつ、一貫してアメリカ社会の銃・人種問題、あるいは企業の不正に対して敢然と闘いを挑む不屈の異端ジャーナリストとして、その存在はますます目の離せないものとなっている。トレードマークはベースボール・キャップ。

【YOSHIの会】1992年10月17日米国ルイジアナ州バトンルーージュ市での服部剛丈(よしひろ)君射殺事件以来、銃規制運動を展開している会 代表：服部政一、美恵子

ホームページ：<http://www11.plala.or.jp/yoshic/>

【YOSHI基金】YOSHI基金は、1993年6月、事件後、悲劇を繰り返さないためには文化の違いを乗り越え理解を深めていく必要があるとして、銃のない安全な日本社会を体験してもらうため米国の高校生を年に一人ずつ招こうと計画して設立された。基金は、剛丈君の生命保険から一千万円拠出、個人や団体、多くの方々からの寄付金で運営されている。事務局はAFS日本協会が担当。今年は11回生 Mr. Cory D. Howell を迎えた。